峠物語

亀崎～住次郎　約17km
希ノ川～住次郎　約18km
〃　～更片魚　約11km
杉子峠～亀崎　約6.5km

熊野神社

旧竹内家住宅
国重文

椎の大木。

給油

GS

亀崎公園

亀崎

井津井谷
渡下橋

ホタル

道の駅 四万十大正

キャンプ場

渡下橋が25完成している。
四万十大橋は1981年完成。

水車

「森の里」

希の川

国道381号線。R2年
県道七子峠～宇須賀線
開通。

麦の穂パン

牛馬の碑

エコロギー四万十

葛籠川

モチノキ谷

S46(1971)
片魚～四万十川線、開通

椎のトンネル

西佐道439号
よさく

山の又原生林

中村～大正間
37km。

一の又温泉

一車線区間は17km

山道
一車線、急カーブ連続！
対向車、落石もあり！
雨の日はスリップもあり。
二輪車も要注意！！

希ノ川
大正町時代までは「四手の川」。
四万十町合併の際、「希の川」へ改名。

(旧四手の川村)

ここより山道

安全運転！
キープレフトで
減速 減速!!
早目はやめのライトON！

不動山

白を会いのお地蔵様を
祀り山の安全を祈る。
(杖立地蔵。1854年建立)

林道

杉子峠

(旧東上山村)

(旧山中村)

山峠の風を感じて一句。

なんだか俳句が詠みたくなる。

俳句が一面に！

うたの駅

イチョウ大田

片魚うたの駅

S26(1951)田野々～中村間
県交通バス乗入。

杉子山
二百年三百年という古い森林には木の精が此度する。人間の斧が無残にもそのような大森林を伐開して行く。精霊は自らの悔ましい最後に悲鳴を挙げて哭く。夜陰となると地響の音がとう仙の断末魔の叫声がしたりする。
平出修
静岡公園に文学碑

439
杉子

片魚無線
中継所

四万十源流の森

ぶどう園

奥片魚

福徳神社
昔、市右衛門家の榧の木に美しい鳥が七日間静かにとまっていた。七日目の夜明け、鳥のいた場所に黄金の御幣の光が輝いていた。それが福徳の神様「片魚を一目に見下す高い所に祀るなら村の人々を豊かにする」とお告げがあり以来片魚は幸福が続いているという。

自販機
R381まで10km

片魚
遠い昔、大潮(津波)が押寄せ一のヌに鮪が一尾かかっていた。通りがかりの男二人が分けた。一人は骨付きの方を、一人は残りを取り、魚を片方ずつ分けたことから「片魚」の名ができたと伝わる。
(「竹魚」と記された書もある)

鳥打場の峠

至打井川

片魚川

常六

井森神社
(安産の神)

大屋敷
もとは王屋敷。
土御門上皇にゆかりの地。
1221年承久の乱で土佐に流された天皇。

花街道

谷口

三ツ又

常陸山
瑞雲寺
旧常六学校

六常神社

耳の神様

後川

富山
どんの会
良心市

王子様

至上川口
18.5
市役所26km
ホビー館B64km

千代鶴姫の碑

お地蔵様

一つひとつに思いをこめて
先人が積み上げ、現在まで守り続けられている石垣群。
石を積み水を流す美しい景!!

三ツ又はもと「ニツヌヒ谷山」という美濃の人が開拓したことにちなみ「三」をつけたという。
宗崎昇作詞、三ツ又三助 南風

参考文献
富山村史
大正町史

仏ヶ森

蔭谷

ユキノシタ群生

旧片魚学校
文。

保育所跡。

金刀比羅宮

お地蔵様

吾四郎谷

幕末、大和・十津川で吉村虎太郎の挙兵した天誅組に加わった人物の墓がある。村上吾四郎という人。詳細不明。

天神宮

ふれあいの里

住次郎

お地蔵様

出合橋

竹奈路

住次郎様と大用様
明治はさだかではないが、この二人は殿様で、大用のオジロは城址と云われ、住次郎にも出城があったと伝わる。

イシゼ岩
昔、大きな鬼がこの岩と梶に入れて片魚と通っていた時、梶が破れて岩がどっこいしょと落ちた。

旧片魚中学校
酒井商店

至大用・中村市街